

「いざなみマラソン2018」開催迫る!!

市の北西部と南東部をつなぐ「比婆いざなみ街道」沿線を舞台に、魅力的な食や伝統文化、景観などの地域資源を広く発信するイベント「いざなみマラソン2018」第2回比婆いざなみ街道マラソン「マラソン」の開催がいよいよ迫ってきました。

広報しょうばらで、4月号から情報を連載してきましたが、今回は石川芳秀実行委員長に意気込みを語っていただきます。



「比婆いざなみ街道」マラソン大会実行委員長 石川で

さて、昨年開催した「比婆いざなみ街道マラソン2017」には、市内外から約230人のランナーが参加し、コースから望む景色が素晴らしかったなど、高い評価をいただきました。特に、エイドステーション（休憩所）で提供されたおいしい地元産食材を使用した食事と、地域の方との心温まるふれあいを楽しめたことが高い評価につながったものと思います。

「比婆いざなみ街道マラソン」最大の強みは、エイドステーションの充実ぶりだと私は考えています。

今大会は「いざなみマラソン」の愛称で、比和・高野・西城地域を中心に開催されますが、前回大会に勝るとも劣らない「おもてなし」をランナーの皆さんに提供できるよう、コース沿線地域の皆さんと連携を図りながら準備を進めています。

66 kmの部は、県内随一の巨杉群に囲まれ

た、社叢で知られる「熊野神社」など、多くの見学スポットを楽しめるコースです。

11 kmの部は、自然豊かな比和町内を巡る、家族連れなどが楽しめる距離とイベントが魅力です。

実行委員会では「比婆いざなみ街道」が誇る景観や食、温泉などの地域資源を活かし、参加するランナーの皆さんに心から楽しんでいただくこと、また沿線地域の活性化を目標に掲げ、引き続き取り組みを進めていきます。

最後に市民の皆さんの絶大なご支援とご協力をお願いいたしまして、実行委員長としての挨拶、意気込みとさせていただきます。「いざなみマラソン2018」を通じて庄原の素晴らしさを広くPRしていきますよー!

大会の開催日

- 10月28日(日) 6時30分スタート
- 66 kmの部
- 11 kmの部 10時スタート

申込期限 9月30日(日)

問い合わせ 実行委員会事務局

(いちばんづくり課 いちばんづくり係)

☎ 0824・73・1278



物販拠点施設等 リレーコラム Relay column

このコーナーでは、食材をはじめとする地域資源を活用した産業振興や、市内外からの来訪者による交流促進などにより、市全体が活性化していくための拠点となる施設の魅力について、施設長自らのリレーコラム形式で紹介していきます。

観光振興課観光振興係 ☎ 0824・73・1179



「元気のでるみんなの市場」食彩館しょうばらゆめちゅう

食彩館しょうばらゆめちゅうは、平成14年4月にオープンし、17年目を迎えています。

ゆめさくらには、それぞれ特徴のある6つの店舗と2つの交流の場があります。庄原の農業を元気にしようという目的から「庄原産」にこだわった新鮮な朝どり野菜、花木、果物などを直売所で販売しているほか、比婆牛、お米、地酒などの特産品も販売しています。各店舗は「工房」を持ち、アイスクリーム、パン、無添加のハム・ソーセージなどを製造販売しています。また、お食事処では、地元産の食材を活用したそばなどを提供しています。

エントランスホールでの季節の催事などをテーマとした展示・イベントは、好評をいただいています。また、交流ホールは研修会、講演会など貸館可能なスペースとなっており幅広く利用可能となっていますので、ぜひご利用ください。

平成28年4月からは「庄原市観光協会」の事務所がゆめさくらに移り、庄原

市の観光情報をはじめとしたさまざまな情報発信の拠点となっています。

国営備北丘陵公園、かんぼの郷庄原のイベントと連携し、観光協会と手を携えたホットな情報、旬の情報を発信しています。

ゆめさくらに携わるすべての人々が、ゆめさくらにおける人と人の交流や生産物の販売など、元気の発信拠点として地域活性化のために頑張っています。ぜひお立ち寄りください。

(支配人 延藤浩二)

